

## 事例発表 1

# 中間市老人クラブ連合会 喜楽会活動事例発表

発表者  
喜楽会会長：樋口季雄

### 自己紹介

氏名：樋口季雄

年齢：昭和26年9月19日 70歳

職業：会社員

### プロフィール

平成23年10月定年退職後現在嘱託にて勤務中

地元にて自治会役員になる

平成26年民生・児童委員を拝命 現在も継続中

平成27年自治会長拝命 平成28年自治会役員顧問

平成27年老人クラブ会長になり現在に至る

会長を引き受けた1年間ほとんど活動なし



分散状態の老人クラブ (おもとかい  
万年青会)



解散を考える



自治会に説得され老人クラブの存続を決定



イメージチェンジをするためクラブ名称変更



クラブ員を説得し名称を【喜楽会】に変更

活動を開始する



老人会の運営をサークル制にしようと考え会員の増加を計画



卓球クラブを説得 (抵抗にあうも最後に同意していただく)



カラオケ、グランドゴルフサークルも勧誘 OKいただく



旧万年青会約10名を仲良し会として活動開始



まずは4サークルで喜楽会の活動開始

各サークルの責任者を決定



老人会活動の連絡を密にする



**各行事に大勢参加**

自治会主催の芸能祭、盆踊り、町内清掃

喜楽会が主となって参加



中間市労連主催行事

バスハイク、体育祭、パタゴ大会へも大勢参加



中間市推奨のケアトランポリンも健康増進で喜楽会が主となる

毎年年度初めに会員・新サークルを回覧板にて募集



**二組のサークルが新しく発足**



趣味の会

数名の女性会員にて始める

それぞれ得意分野を教えあい（編み物・パッチワーク・その他）

楽しくおしゃべりしながら活動している



出来上がりを町内芸能祭時に展示

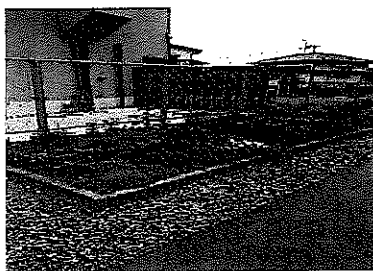
園芸サークル



花好きの方々がいろいろな花を町内に咲かせています



筑鉄希望ヶ丘電停の横の花壇・2丁目の公民館花壇に  
花を咲かせ通りすがりの人々の目を楽しませています



まとめ

これらの活動により若干であるが会員を増やす



平成29年

福岡県老人クラブ3万人増強運動で表彰を受ける。



現在コロナ過で様々な活動に制約があるが  
早く終息して皆が力をあわせ活動していきたいと思ひます

ご清聴ありがとうございました。

## 恵寿会の活動について

桂川町老人クラブ連合会  
平山恵寿会会長 原口 孝子

桂川町平山地区の老人会は「恵寿会」です。長い歴史のある「恵寿会」です。私がこの会と出会ったのは、昭和50年代同居していた主人の両親が、老人会の旅行にそれはそれは、楽しく参加していた記憶です。

その頃の「恵寿会」は、会員も多く、旅行の記念写真も2～30人の大人数の笑顔です。

私は今年令和4年、この「恵寿会」の会長になりました。  
会員は9名です。  
毎月の例会の出席者は、いつも5人です。

主な活動は、私たちの公民館の清掃です。  
高齢者ばかりで、草取りも、モップ掛けもトイレ掃除も大変です。  
私たちの公民館が、いつでも、整理整頓されていて、みんなのどの活動も気持ち良く始められることに、私たちは生きがいを感じています。  
掃除のあと、月例会をします。  
健康のこと、防犯のこと等、色々皆で話し合います。

そして、桂老連が主催して下さるグラウンド・ゴルフやペタンクなどのスポーツ大会や演芸会に、5名で参加しています。

以前桂老連の行事で、なにかかくし芸をと言われ、コーラスをしました。仲間のギターに合わせて一生懸命歌いました。

でも、後で、他の老人会の人から「良かった」「今度、私たちもコーラスをやってみようと思った。」と言われて、大変うれしくなりました。

周りを見回せば、老人会に入って欲しい人は地域に沢山おられます。どうしたら入ってもらえるかと、いつも考えています。

先ず、今の会員が楽しむ老人会にする事だと思っています。

この、会員の少ないことは、私たちの会だけの問題ではないようです。皆さんの知恵を教えてもらいながら、皆さんと考えながら、会員の増える努力をしています。

コロナ禍の現在は、色々考えてもその通りの活動は出来ませんが、健康で、楽しい「恵寿会」を目指しています。

